



さわやかに しなやかに

SEISHO PRIDE

【自立】さわやか挨拶・自ら進んで学習

【貢献】活力ある生徒会活動・いじめ根絶

【創造】響き合う合唱・成長し合える仲間



(青翔中学校 HP)



真剣に取り組む経験

校長 赤松 政彦

先月の5月29日（金）、第18回体育大会を開催することができました。1日延期して雨は回避できましたが、強風と寒さに耐えながらの競技となりました。平日にもかかわらず、多くの保護者や地域のみなさまにご来場いただいたこと、心より感謝申し上げます。たくさんの方の応援を励みにして、生徒たちは真剣に全力で競技に取り組んでいたと思います。

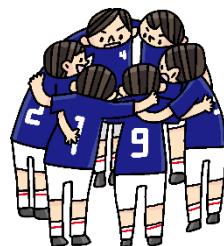
さて、6月6日（土）を皮切りに、3週に渡って東胆振中体連大会が開催されました。どの競技会場に行っても応援や拍手が響きわたり、中体連独特の緊張感や熱気ある雰囲気には満ちていました。部活動の地域展開が進み、学校以外の出場チームも年々増えている中、勝利の喜びを仲間と分かち合う姿や敗退に肩を落として涙を流す姿は、変わることなく見られた光景でした。

勝敗に関係なく、本校の生徒にも他校の生徒にも共通していたのは、競技に**真剣に取り組む姿**があったことです。真剣に取り組んでいるからこそ、涙があふれるくらいに喜びや悔しさで心がいっぱいになるのだと思います。

勝利した多くの選手は成就感や達成感、仲間との連帯感を体験します。成功体験は次への挑戦のエネルギーになります。一方、敗退した多くの選手は悔しい気持ちだけで終わるのではなく、自分の課題や次にやるべきことを見つけて成長につなげることができます。これらの経験はスポーツの世界だけではなく、文化系の部活動のコンクールや発表会、習い事の活動等、**真剣に取り組む環境**は他にもたくさんあります。

中学生という多感で成長著しい時期に、何かに「**真剣に取り組む**」という経験は、この後の長い人生の様々な場面で、きっと良い影響を与えるはずで、例えば何かに興味をもったり目標に向かって努力したりする時、**真剣に取り組む心地よさ**を知る人は物事を投げ出さずにやり遂げることができます。時には仕事等で（使命感として）**真剣に取り組まなければならない**ことに会うかもしれません。良い経験を重ねた人は緊張や重圧（プレッシャー）等に耐え、ねばり強く乗り越えることができます。中学生のみなさんには、少しでも多くの「**真剣に取り組む経験**」を積み重ね、自律した人になってほしいと願っています。

1学期も残すところ約1か月となりました。来月は学年ごとの参観日、2年生の宿泊研修もあります。引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



□5月29日(金) 体育大会の様子



いじめに関するアンケートの結果について

5月に「いじめ悩み調査」を行いました。これは、本校の学校いじめ防止基本方針にもある、「いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための取組」として行っています。

結果は、全校で24件をいじめとして認知し、生徒指導主事を中心に組織的な対応を行いました。なお、いじめ以外でも日頃の悩みも多く、新年度の不安定さが現れた形でした。今後も定期的な調査や面談、学年の教師を中心とした日常の観察を行っていきます。

7月の主な行事

2日(木) 交通安全教室(1年生)
いじめ問題子どもサミット
7日(火) 参観日(2年生、10組)
8日(水) 常任委員会
9日(木) 全協 防犯教室(1年生)
10日(金) 漢字検定
14日(火) 参観日(3年生)
宿泊研修(2年生)

15日(水) 参観日(1年生)
宿泊研修(2年生)
16日(木) 宿泊研修回復休(2年生)
21日(火) 校内研修
22日(水) 通知表配付 大掃除
23日(木) 終業式
27日(月) 諸費引落日
3年生三者懇談(~7月31)